

警察官の増員による県民生活の安全の確保

提案・要望先 総務省・警察庁

提案・要望の要旨

県民の安全で安心な生活を確保するため、警察官を増員すること

提案・要望の具体的な内容

【現状と課題】

県民が不安を強く感じる殺人、強盗、放火等の凶悪犯罪や振り込め詐欺等の知能犯罪が激増するなか、治安の悪化に歯止めをかけ、県民の安全と安心を確保するためには、街頭活動を強化するなどして犯罪を抑止し、県民の不安を解消することが重要です。そのため特に、警察署の地域、刑事、少年部門等の警察官を増員する必要があります。

【要望の具体的な内容】

県民の安全で安心な生活を確保するため、警察官を増員すること

1 自動車警ら班の増強・新設

警察官1人当たりの面積負担率の高い当県では、機動力を生かした自動車警ら班（パトカー係）要員を増員し、機動力により地域の安全を確保することが必要です。

平成18年4月現在の自動車警ら班設置警察署 16署中10署

2 高齢者安全対策班の設置

高齢者比率が全国第3位の当県では、高齢化が中山間部で特に顕著であり、振り込め詐欺による被害や高齢者死亡事故の多発など、高齢者を取り巻く環境が悪化していることから、高齢者の各種安全対策が急務となっています。

このため、中山間部を管轄する警察署に、パトカーを活用した機動力により管内全域をカバーする「高齢者安全対策班」の設置が必要です。

平成18年4月現在の高齢者安全対策班設置警察署 16署中2署

3 留置管理係、刑事係、少年事案対策要員の増員

地域警察官を地域密着活動や街頭活動に専従させるため、その阻害要因となっている看守・護送勤務のための本署引き上げを抑制することが必要であり、留置管理係の増員が必要です。

刑事係1人当たりの、刑法犯負担率の高い高知市及びその周辺部の警察署に刑事係の増員が必要です。

深刻化している少年非行の低年齢化に対応するため、少年事案対策要員の増員が必要です。

【高知県担当課室】警察本部警務課